

令和7年2月12日

福岡市教育委員会

高校教育課

福岡市政記者各位

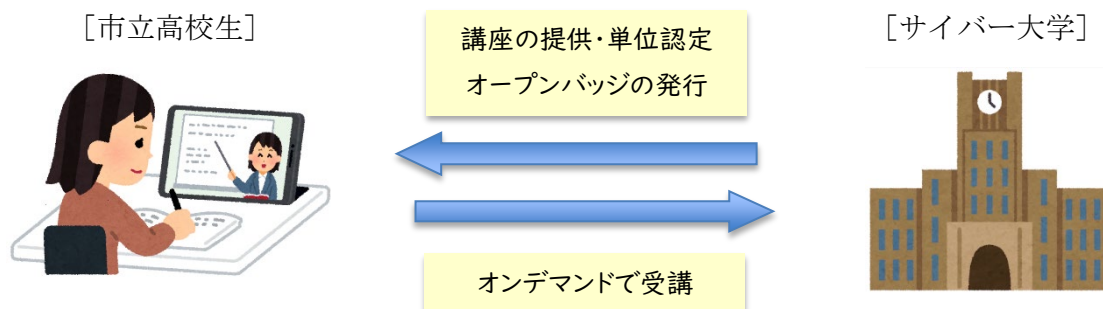
サイバー大学と福岡市立高等学校との オンライン授業に関する連携協定の締結について

福岡市立高等学校の四校（福翔、博多工業、福岡女子、福岡西陵）は、令和7年2月12日に、サイバー大学（学長：川原 洋、所在地：福岡市東区）と高大連携協定を締結しました。

本協定に基づき、令和7年度より、福岡市立高校生はサイバー大学のオンライン授業を無償で受講することができます。

〔無償で提供される授業〕 データサイエンス入門（90分×全15回）

本授業は初心者向けに設計されており、文部科学省から特に優れたプログラムとして選定されています。高校生が大学レベルの教育に早期に触れる機会を提供し、理工系分野への興味を喚起することをめざしています。



※サイバー大学：2007年4月に開学した株式会社立の通信制大学。ITとビジネスが学べるIT総合学部において、自分の都合にあわせて学習できるオンデマンド形式の授業を展開しており、学生同士や教員との交流やサポートもすべてWeb上で実施。



福岡スタンダード～福岡の子どもたちに大切にしてほしいこと～

生活習慣の柱

あいさつ・掃除

学びの柱

自学・とも学

未来への柱

チャレンジ・立志

本件問い合わせ先

福岡市教育委員会高校教育課

担当：井手、大坪

電話：092-711-4843

E-mail：hs-education.BES@city.fukuoka.lg.jp

サイバー大学とは

サイバー大学は、文部科学省から認可を受けた**完全インターネット制の通学不要な「デジタル大学」**です。2007年にソフトバンクグループがつくった大学で、約4,000人の学生が在籍し、「高度IT人材」を育成しています。福岡市東区のアイランドシティに校舎を設置し、高校新卒の若い学生を含めてたくさんの福岡近郊の人が学んでいます。



高校生からサイバー大学で データサイエンス を学ぼう！

受講料無料*1



数理・データサイエンス・AI
教育プログラム 認定制度
リテラシーレベル プラス

文部科学省から特に優れたプログラムに選定
(有効期限：令和8年3月31日まで)

データサイエンスを学ぶ 意義について

デジタル社会において、データを使いこなせる能力は「読み・書き・そろばん」に匹敵する基礎力として、あらゆる分野で求められています。

データサイエンスを学ぶことで、日常生活やビジネスで使われるデータを読み解き、活用する力が身につきます。データの見方や利用方法を理解し、あなたの未来の可能性を広げてみましょう。

2023年度 授業の役立ち度（肯定回答率%）

88.8%

全受検者 68.8%

数量的・統計的スキルの役立ち度は、全国27万人以上の大学生による集計結果より20.0pt上回っています。

株式会社ベネッセ iキャリア「GPS-Academic」全受検者集計（2024年3月2日時点）のデータに基づいています。

データサイエンス入門 学べる内容と特徴

いつでもどこでも好きなときに、わかるまで
繰り返して学べるのが特徴です。

授業の内容



①データサイエンス・
人工知能の
基礎知識

②基礎的なデータの
利用方法と留意点

授業の満足度



受講者の
81.2%
が満足

2024年度授業評価
アンケート結果

オンラインビデオ授業



自宅で受講
約**15時間**
＋確認テスト

授業の質問・回答



教員・TAが
原則**24時間**
以内に回答

お申込みと受講スケジュール*2、単位認定*3

2025年
2/12(水)～
3/17(月)
春の申込期間

2025年
4/3(木)～8/7(木)
春の受講期間

成績
発表

受講者の声：
教材も内容も非常に
分かりやすく、とても丁寧でした。

YouTubeで体験授業▼



サイバー大学
Cyber University

*1 受講にあたってインターネットに接続されたPCと本人確認のためのWebカメラが必要です。

*2 高校の事務局からの案内に従ってお申込みください。（申込状況により受入制限あり）

*3 修得した単位は、進学時に単位認定を受けられる場合があります。（サイバー大学は認定可能）

授業概要「データサイエンス入門」

担当教員	浅田 麻菜 講師
主な学習内容	- データの収集・分散・考察、データを扱うための留意点等 - データ分析の基礎、データを扱うための基礎的な数学、機械学習手法等の基本を学習
おススメポイント	- データサイエンスの基礎を1科目で満遍なく学習できる - 演習“風”動画により学んだ知識の活用を疑似体験できる

中学から高校レベルの基本的な数学知識（主に統計、関数等）を使用しますが、専門知識やプログラミングの経験がなくても学べます。データ分析のイメージをつかんでもらうため、各回第4章では、実データを用いたデータ分析等の実演動画があります。

授業構成

第1回	オリエンテーション	第9回	データを使った予測（2）
第2回	データの分類と収集法	第10回	データのグルーピング
第3回	データの全体像	第11回	データの関係性の発見
第4回	データの比較	第12回	テキストデータの扱い
第5回	データの可視化(1)	第13回	画像データの扱い
第6回	データの可視化(2)	第14回	機械学習入門
第7回	データを扱う心得	第15回	データ・AIの利活用
第8回	データを使った予測（1）		



受講の流れ（2025年4月3日～8月7日）

合格者にはオープンバッジを発行

2単位科目 授業数は15回

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	期末試験
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	------

データ収集計画①

調査計画の立案

目的は？

ユーザの満足度

調査方法

サンプリング方法

質問内容

調査人数 等々...

調査目的に応じた適切なデータ収集計画を考える必要

0:00 第1章 データ収集方法

0:11 第2章 学習目標

0:20 調査データの例

1:21 データ収集計画①

2:30 調査方法とデータの分類

4:16 データ収集計画②

5:29 授業方法

6:18 全学履修と単位取得

9:03 サンプリング方法

9:38 単純無作為抽出

10:22 系統抽出

11:02 層別抽出

1回の授業は90分程度

1章 2章 3章 4章 小テスト

1章あたりは15分～20分程度

授業動画の視聴にくわえ、各回の小テストを受験することで出席になります。各回の小テストの点数と期末試験の点数をシラバスの成績評価配分で100点満点に換算し、合計して60点以上を取得すると合格です。